



長崎大学

ISSN 1347-7994

# CHOHO



Vol.6

長崎大学広報誌【長報:チョーホー】

2004年1月(年4回発行)

Winter

特集

## 長大キャンパス

新時代の知の拠点をめざしてリニューアル!

【表紙】について

---

「Untitled」 大西 達久

長崎大学教育学部  
学校教育教員養成課程中学校美術4年

自分の映像作品から取り出した一部の画像をモチーフにした平面作品。水で溶いた絵の具をキャンパスにかけ、ムラができたところを布で何度もふき取るという手法で制作しています。左上に曲線を描く赤い部分は、何だろう?と思わせる。そのカタチに面白さを感じ、いろんな作品に好んで使っているそうです。「赤が好きで、自分にとっては落ち着く色。またネオンのような彩度ある光にも惹かれる」という作者。印象的な色づかいにその個性が感じられます。



## 国立大学の新たなスタート

長崎大学長 齋藤寛



長崎大学は本年四月一日より国立大学法人長崎大学として新しいスタートを切ります。

わが国の国立大学はおよそ七十年ごとに大変革期を迎えるようです。一八七七年の官立大学設置(東大)、一九四九年の新制国立大学設置(一県一大学の誕生)に次ぐ大きな変革です。

国立大学は法人化に伴い、大幅な自己裁量権を与えられます。ただし、法人化後の六年間の計画(中期目標・中期計画)の達成度と改革実績に応じてその後の資源配分を変えるというのが共通の認識でした。教育に魅力がなく、研究が沈滞している国立大学は規模縮小はもろろんのこと、つぶれることもあるでしょう。つまり、国立大学は護送船団方式から競争の時代に入ったのです。いま、国立大学は個性輝く大学にしようとしてそれぞれが知恵を絞っています。

ところが、大変なことが起きました。国立大学法人化後の各大学の実績を評価することなく、平成十七年度から国立大学への予算支出を毎年一律二

%削減すると財務省が提案しているのです。大学は人が中心の、いわば手作りが売り物の組織です。リストラ、自動化、ロボット代替、資材一括購入など一般企業におけるような経費削減策は簡単でなく、予算削減は大学の研究費や学生諸君の教育費の削減に直結します。

国立大学が加盟する国立大学協会の佐々木毅会長(東京大学総長)が予算削減反対を訴えました(私の視点/朝日新聞/平成十五年十二月二日)。私ももちろん反対です。しかし、このような困難な状況下でも長崎大学は大学教育のさらなる向上充実に努力します。

目下、平成十六年度予算を策定中ですが、予算総額減額の中で、学生教育費を二十%増とします。本誌で紹介したようにキャンパス整備も猛スピードで進行中です。長崎大学は学生生活のいっそうの充実を約束します。

大学入試センター試験も間近ですね皆さんの健闘を祈ります。そして、ぜひ長崎大学に来てください、待っています。

追伸:学長メッセージ(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>)にもアクセスしてご意見をください。  
メールアドレス: [president@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:president@ml.nagasaki-u.ac.jp) 必ずお返事します。

HIROSHI SAITO

### CONTENTS

- P01 【特集】長大キャンパス
- P06 【長崎学】長崎の印刷・出版史
- P08 【NEWS】文部科学省21世紀COEプログラム 採択!
- P11 【感染症基礎講座】感染症ってなあに?
- P12 【いいか放題】新聞記者 丸田 理恵 さん
- P13 【We Love Circle】女子サッカー部
- P14 【留学体験記】英国・グレイ癌研究所から 【留学生のお国自慢】ブラジル
- P16 【幕末・明治期日本古写真コレクション 明治ジャパネスク】古町橋と光永寺
- P17 【インフォメーション】・【編集後記】

築三十年以上を経過した  
建物が大半を占め、  
老朽化が目立つ長大キャンパス。  
現在、着々と進められている  
キャンパス改善・整備の  
現状と未来を探ります。

# 特集 長大 キャンパス

NAGASAKI UNIVERSITY CAMPUS

新時代の知の拠点を  
めざしてリニューアル!



文教キャンパスの正門横に設けられた新斬的なデザインの総合案内。  
初めて訪れる人が、学内の目的地までスムーズに行けるよう交通計画  
や駐車場のサインなども改善が進められている。

新しくなった学生会館の入口

## 急速に進むキャンパス整備

独創的・先端的な学術研究の場で、創造性豊かな人材を育成する国立大学の施設は、科学技術創造立国をめざす我が国にとって重要な基盤であり、そして地元の街にとっても大切な知の拠点です。

現在、国立大学は全国的に建物の老朽化の問題が進行していますがその一方で今年四月に国立大学が法人化されることから、施設整備においても法人化への対応が求められています。

本学の場合、過去十数年にわたり、大学の統合移転が、現在地で再開発するか方向性が定まらず、そのため他大学よりも整備が遅れました。長崎市内の文教片淵、坂本の三地区にあるキャンパスのうち、坂本地区以外の整備が遅れ、特に文教キャンパスにおいては建築後三十年以上経過した建物が全体の約六六%と全国平均の約三五%を大きく上回っています。

本学で、施設整備が具体的にはじまったのは平成十二年度からで現在地での再開発決定を受けた後、各キャンパス施設の老朽化や狭隘化などの問題解決に向けて着々と整備が進められています。

「百年建築」をめざした総合教育研究棟(昨年12月整備)。省エネ対策として、取り入れた自然光を調整できる遮光ルーバーを設置。窓ガラスは熱線反射複層ガラスになっている。



## 文教キャンパスに 新しいランドマーク誕生

メインキャンパスの文教地区には教育学部 薬学部 工学部 環境科学部 水産学部 五学部と図書館、事務局などがあります。

これまで、教育研究の進展や時代の変化に対応して随時、新增設を行ってきましたが、建物は老朽化し、複雑に入り組んでいました。現在、「国立大学等施設緊急整備五カ年計画」に基づき、さまざまな整備

備が進められています。

### 総合教育研究棟

文教地区構内でもっとも高く、新ランドマークになっているのが昨年十二月に整備された「総合教育研究棟」です。鉄骨鉄筋コンクリート造地上十二階建て、延べ面積約二二、九〇〇㎡。

この建物は、平成十二年に策定された「長崎大学・大学改革案」における総合大学院構想の自然科学系研究科をめざす施設として整備されました。低層階は



高層階には、学術研究の進展や産学の連携・協力などプロジェクト型の研究活動に対応できるオープンラボが整備されています。

大学院を中心に共用する講義・ゼミスペースを配置。中層階には専門分野の教育研究を多様に展開できる高品質の実験研究スペースが設けられています。高層階には全学的に実験機器を集約し、共同利用を図るスペースやプロジェクト研究用として全学が共用できるオープンラボになっています。

### 薬学部校舎

施設・設備の老朽化が著しかった薬学部校舎。改修工事で、施設の老朽・狭隘化

を解消し、高度・多様化する教育研究活動を支援する環境の整備を行いました。また、既存の建物を利用したダブルスキン<sup>1</sup>工法で、耐震補強を施しています。オープンラボも設置し、大学院生対応のスペースも充実しています。

1「ダブルスキン工法」既存建物の外側に新たに柱・梁によるフレームを鉄筋コンクリートで構築。そのフレームと既存建物とをスラブによって剛結一体化するもの。構造補強のみならず、外観デザインも一新される機能的な工法。

シンプルでモダンな外観になった薬学部校舎。「ダブルスキン工法」の採用で百年建築へと蘇生を図った。



### 学生会館・食堂

昨年春、裏門付近の風景にも大きな変化がありました。かつてあった生協の売店と鉄筋二階建ての学生会館は、開放感あふれるガラス張りの建物の中へとリニューアルされました。この新しい学生会館は、大きなガラス窓からの採光により明るい

雰囲気となっており、廊下には絵画が飾られるなどアメニティの向上が図られています。一階に生協の食品売店、二階に書籍売店、各種サービスコーナーを設置。和室集会室の一部も改修。一階にはキールが設けられ、学生会館と食堂の一体化が図られています。



新学生会館の周辺には、スレン(エジプト)、シャクナゲ(ネパール)、ボタン(中国)、ムクゲ(韓国)、ハイビスカス(マレーシア)、赤バラ(オマーン)など留学生の出身国を代表する花が植樹されている。



教育学部中庭を利用した「おもやい広場」と「ピオトープ」。ゆめ大賞を受賞した学生のアイデアでつくられたもの。「おもやい」とは、共に分け合うこと、共有することを言う。自然とふれあうつづろぎの広場として学生たちに好評。

## 病院地区の整備がはじまった坂本キャンパス

坂本キャンパスには、医学部・歯学部の一学部と、昨年十月に統合した医学部・歯学部附属病院および全国共同利用機関でもある熱帯医学研究所などがあります。坂本キャンパスは、一定の施設整備が先に進んでいたため本学の中では比較的良好な環境が維持されています。文部科学省の「二十一世紀COEプログラム」にも採択された最先端の研究などにも対応できる施設では充実した設備のもとで研究活動が着々と進められています。

統合した医学部・歯学部附属病院地区は狭く、高低差のある段状の敷地にあります。そのため施設整備には周辺環境への十分な配慮が必要です。また既存の病院施設も老朽化などの問題があり、長年再開発整備の必要性が求められてきました。高度医療や多様化する患者のニーズに対応できる体制をめざし、現在、新病棟・診療棟の工事



遺伝子実験施設。本学における遺伝子研究拠点としてのみならず、地域におけるバイオ分野の産業育成への貢献も期待されている。

着工の準備が進められています。

### 遺伝子実験施設

組み換えDNA実験や遺伝子研究と技術開発および遺伝子に関する安全管理、教育訓練の場、シミュレーションな研究支援を図る学内共同利用の研究施設として平成十五年三月に整備されました。今後は新興感染症病原体の遺伝子研究やヒトゲノム研究など、この分野におけるさらなる研究活動が期待されています。

### 熱帯医学研究実験棟

本学で唯一の国立大学等全国共同利用機関である熱帯医学研究所の研究実験棟も平成十五年三月に整備されました。

この施設は、国内唯一の熱帯医学研究

の拠点で、平成七年度には、卓越した研究拠点(COE)の研究所としても指定されています。さらに昨年度の「二十一世紀COEプログラム」に採択された「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」の中核施設としても利用されており、熱帯医学と国際保健における先導的研究および専門家庭教育を行っています。



熱帯医学研究実験棟。この研究所では国内の共同利用研究の他、WHO、外務省、JICAなどの要請による熱帯現地での研究・技術協力・海外の大学や研究機関との学術協定による共同研究を行っている。COEにおける国際的な研究拠点施設として、さらなる研究の高度化・国際化を推進している。

## 豊かで潤いのある環境を実現した片淵キャンパス

閑静で緑豊かな環境に囲まれた片淵キャンパスには、経済学部と東南アジアにおける政治・経済・文化などに関する研究を行っている東南アジア研究所があります。

このキャンパスでは平成七年度の大学

総合研究棟内のホールで、くつろぐ学生たち。  
コミュニケーションの場にふさわしい快適な空間。



院設置、平成九年度の商科短期大学の廃止統合等による学生・教職員数の変化に伴い狭隘化が進行し、教育研究に支障を来していましたが、平成十三年度から行われた校舎増築と一部の既存校舎改修で問題点はだいぶ緩和されています。

総合研究棟

図書館のそばに新しく増築された総



大講義室。カーペットが敷かれ、落ち着いた雰囲気か漂う。空調装置など、快適な室内環境づくりの配慮が行き届き、グッと快適になった。学生たちは、ますます講義に集中できるようになったはず。



総合研究棟。片淵キャンパスの恵まれた環境の中で、グローバル化、IT化などが進む現代経済社会にふさわしい、実践的問題解決能力を持った人材を育成するための施設。

合研究棟。低層部分には百五十人を収容できる講義室。多目的ホールを設け、高層部分には交流プラザ、ゼミ室、留学生のための研究室、共同研究室が機能的に配置されています。

既存校舎との間にある緑豊かな中庭は、学生、教官の交流・くつろぎのスペースとして利用され、豊かな雰囲気醸成されています。

東南アジア研究所

老朽化が著しかった東南アジア研究所もすでに改修整備されました。既存の建物を利用したダブルスキン工法で耐震補強と機能再生を図り、百年建築物へと蘇生させています。グローバル化・IT化などが進む現代経済社会にふさわしい教育研究施設として活用されています。



ダブルスキン工法で百年建築として甦った東南アジア研究所。不足していた研究室などを確保することができた。



レンガ造りの「環林会館」。大正時代に研究館として寄付されたもので、前身となる長崎高等商業学校の設立以来、100年近い歴史がある経済学部の貴重な資料を展示。2001長崎市都市景観賞「歴史のある部門」の表彰を受けた。

変わる施設のあり方

法人化に向けて、教育研究の活性化や学生支援、国際交流などの充実に役立つ施設整備をめざす本学では、「壊れてから直す」という従来の考え方から「予防保全の考え方を導入し、定期的に保守・点検をすることで良好な環境を維持して行く」と考えています。これにより小さな投資でより大きな効果を期待できます。

施設整備を進めるにあたり、以前は学内施設の整備と保守管理が体系化されていなかったところを、法人化後は一元的、総合的に施設マネジメントを行えるよう組織を再編。また大学内の各施設の利用状況や利用予定



広さや設備などのデータを集めた「施設データベース」を独自に開発。その情報公開により、施設の有効活用を図るつもりです。さらに民間の資金などを活用する新しい手法のPFI<sup>2</sup>導入にも取り組み、その手法による工学部校舎などの大型改修工事も検討しています。

<sup>2</sup>(PFI) Private Finance Initiativeの略。公施設などの設計・建設・維持管理・運営などを、民間の資金、技術、経営能力を活用する新しい手法のこと。

### ■学生プラザ(仮称)

学生生活の多様なニーズに対応するためにはアメニティの向上を図られた快適な施設整備が必要です。新しくなった学生会館に関連して、現在、整備が進められているのが学生プラザです。三月竣工予定でラウンジや多目的ホール、学習ホールが設けられ、学生のコミュニケーションの場として活用されます。

学生プラザには連続した空間として、周辺に賑わいと憩いの場となるコミュニケーションスクエアや、大学のゲイトとして洗練された雰囲気醸成をアプローチモジュールが計画されています。この学生プラザを中心とした整備では、全体的に段差の解消やエレベーター設置など、ユニバーサルデザインを進め、要所には水、緑、光、ワット

ドヤキを取り入れるなど、人と環境に優しい空間づくりをめざします。

### 新時代の

### キャンパスづくりは

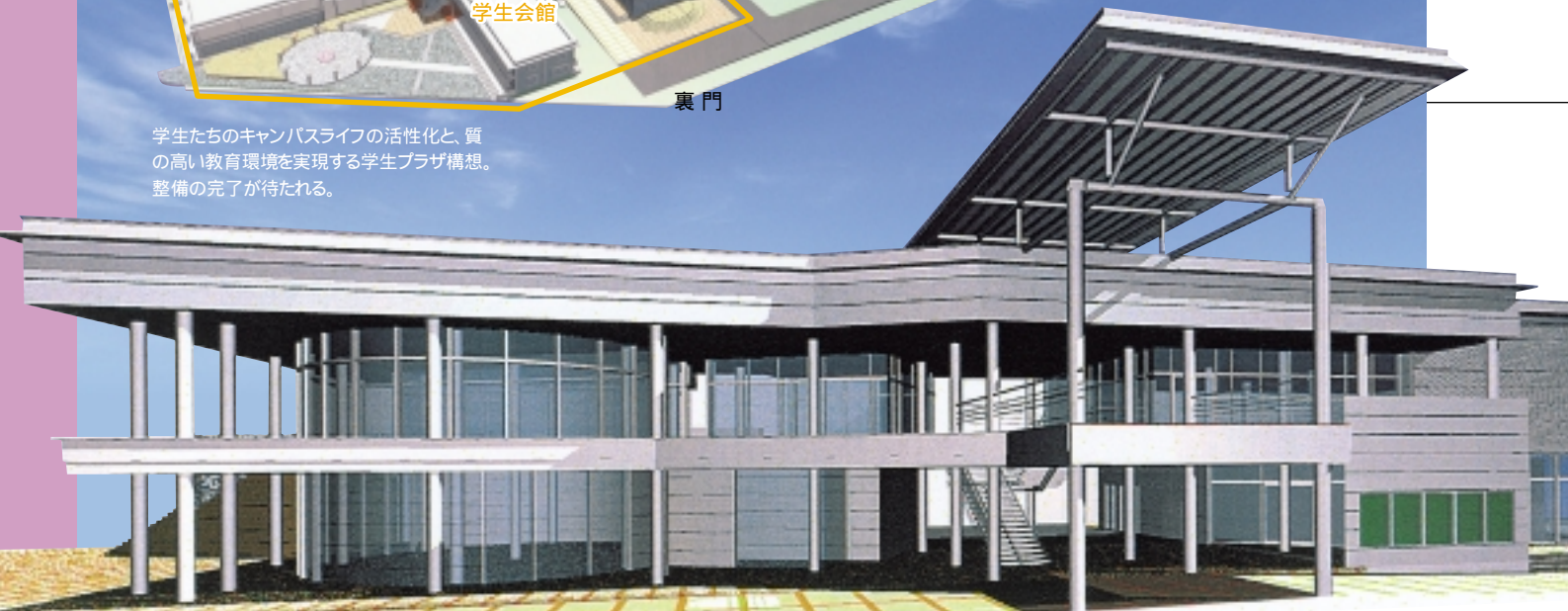
### 始まったばかり

教育・研究・医療などとの密接不可分な要素が強い大学の施設。その整備には利用者との綿密な打ち合わせが必要であり、それが現実のものとなるまでには、長い期間が必要です。現在、キャンパスの各所に予定される整備計画が順調に進めば、今後、大きく変貌した長崎大学の姿が見られます。

市民に親しまれ、市民に開かれた大学をめざした、豊かで潤いのあるキャンパスの整備は、まだはじまったばかり。本学は、長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造する研究教育の拠点をめざしています。社会の調和的発展に貢献する本学に、どうぞご期待下さい。



学生たちのキャンパスライフの活性化と、質の高い教育環境を実現する学生プラザ構想。整備の完了が待たれる。





## 長崎の印刷・出版史

長崎大学環境科学部教授 若木太一

### 一、西洋式活版術の移入

四人の天正遣欧少年使節、伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアンが八年の旅を終えて長崎の港に帰って来たのは天正十八年（一五九〇）六月二十日のことであった。

そのおり同行していたイエズス会日本巡察師アレキサンドロ・ロウリアリアノ神父（Alessandro Valignano / 一五三〇—一六〇六）は、西洋式の活版印刷機を持ち込んだ。この印刷機は、ローマからの帰途ポルトガルのリスボンでメスキータ神父が購入したものだ。

ヨハネスグーテンベルク（一四〇四—一四六八）がライン川中流域の葡萄酒の集散地マインツで活版印刷を創業したのは一四六四年と伝えられている。その活版印刷術は、葡萄絞り機から考案したというもので、母型に鉛とアンチモンの合金を流し込んで造った金属活字に、



油性のインクを塗って紙にプレスする方法である。豪華な四十二行本聖書の印刷を行ったことはよく知られる。教会ではそれまで、修行僧たちが数年がかりで聖書を書写していたのであるから、この複製技術は画期的な発明である。

この印刷機はその後イタリア、ギリシャ、フランス、オランダ、スペイン、ポルトガルと二十年ほどの間にヨーロッパ各地に普及した。ヴァリアリアノ神父はこの印刷機を日本布教の強力な道具として持ち込んだのである。鉄砲・羅針盤・印刷機の三大発明を駆使しての、いわゆる十五、六世紀の大航海時代がその背景としてあった。

### 二、西洋式で最初に印刷されたキリシタン版

#### 印刷されたキリシタン版

この印刷機は島原半島の加津佐のサミニナリオ（円通寺跡、天辺の丘辺り）に設置され、布教活動のための宗教教典、語学修得のためのテキスト類の印刷が行

#### 加津佐版

『どぢりいなきしたん』1591年刊  
『サントスの御作業の内抜書』同年刊

#### 天草版

『ヒデスの導師』1592年刊  
『平家物語・伊曾保物語・金句集』1592～1593年刊  
『ラテン文典』1594年刊  
『ラボ日対訳辞書』1595年刊

#### 長崎版

『落葉集』1598年刊  
『ぎやどべかどる』1599年刊  
『おらしよの翻訳』1600年刊  
『倭漢朗詠集巻之上』同年刊  
『日葡辞書』1603～1604年刊  
『日本文典』(ロドリゲス編)1604～1608年刊  
『サクラメント提要』1605年刊  
『スピリツアル修行』1607年刊  
『聖教精華』1610年刊  
『ひですの経』1611年刊  
『太平記抜書』1614年刊?

われた。その後印刷機は文禄元年（一五九二）に天草のコレジオ、河浦町一町田辺りに移り、慶長二年（一五九七）さらに長崎のコレジオへと移動をかされた。長崎のコレジオはトードス・オス・サントス教会（現在の春徳寺、夫婦川町十一番）にあった。三カ所を移動しながらも、およそ五十種ほどが印刷されたが、現存するのは二十九種ほどである。これらの出版物をキリシタン版とよんでいる。代表的ないくつかを右にあげておく。

このうち、天草版『伊曾保物語』は、ローマ字で表記されるが、日本最初の西洋文学の翻訳書として文学史の上で注目すべきものである。『ラボ日対訳辞書』は日本語をフレン語、ポルトガル語で対訳したもの。なかでも、『日葡辞書』は見出しに日本語三、八七一語をかけた、ポルトガル語で説明し、用例を掲げる。また、語彙には雅語や俗語、都の言葉や西国の方言など、その位相までを解説する。この辞書は、『日

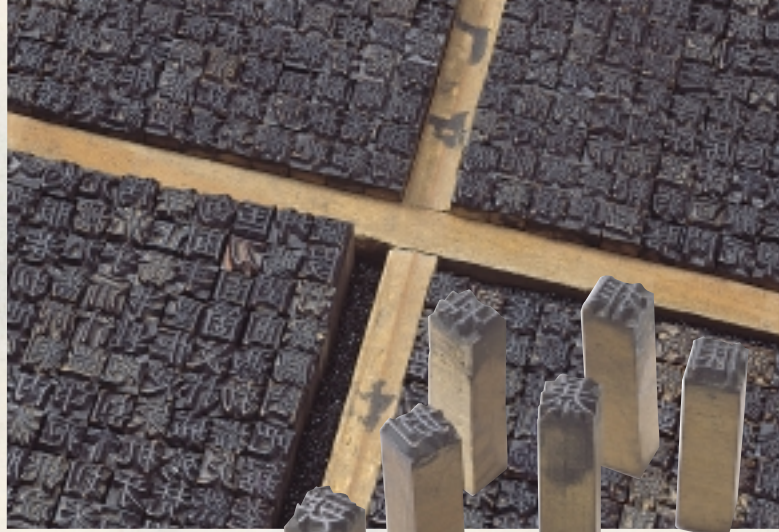


天正18年、長崎にもたらされた日本初の西洋式活版印刷機の複製。(長崎純心大学博物館蔵)



天正遣欧少年使節肖像(京都大学附属図書館蔵)。伊東マンショ、千々石ミゲル、原マルチノ、中浦ジュリアン、通訳メスキータ

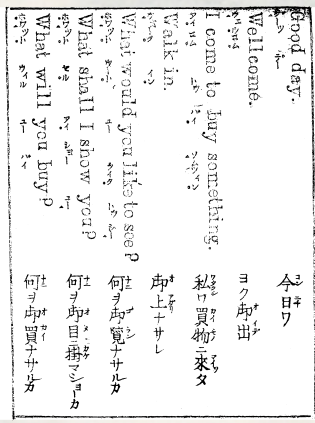
本文典』の編者でイエズス会の通詞をつとめたシヨアン・ロドリゲス神父が編纂の中心となり、日本人イェルマン(修道士)たちの協力で編纂したといわれている。土井忠生(『切支丹語学の研究』三省堂、一九七一年刊)。安土・桃山時代の日本語をローマ字で表記し、当時の発音が写し取られ



本木昌造の試作した木活字。  
(諏訪神社蔵)



『シーボルトの所蔵本目録』  
1862年出島版(複製、武蔵文庫蔵)



『和英商賈對話集 初版』安政6年(1859)  
本木昌造刊(印刷博物館蔵)



近代印刷文化の道を拓いた新町活版所跡。  
(長崎市興善町)



大光寺(長崎市鍛冶屋町)にある本木家の墓。代々オランダ通詞だった先祖らと共に、戒名「故林堂釋永久悟窓善士」が刻まれた昌造の墓(手前右端)がある。

ており、貴重な音韻史の資料でもある。使用活字は主として大小のローマン体、イタリック体が使用されている。ローマン体の大文字四種、小文字三種、イタリック体の大文字三種、小文字二種、そのほか記号の印刷機は力オハへと運び出された。

### 三、本木昌造の近代活版印刷

本木昌造は文政七年(一八一四)六月九日、長崎新大工町乙名、北島三弥太の四男として誕生した。十歳の時、母方の叔父阿蘭陀通詞本木昌左衛門(一八〇一〜一八七三)の養子となり家を継ぐ。幼名を作之助、また改めて元吉、さらに昌造と称した。義理の祖父は、『アングリ亜語林大成』(一八一四)の編纂にかかわった阿蘭陀通詞本木庄左衛門正栄(一七六七〜一八三三)の十一歳のこの年稽古通

詞となり、その後、小通詞末席、同並と昇進した。そのかたわら化学を学んだ。

本木は西洋の活字印刷機を見る機会があり、諏訪神社に保管されているような木活字の試作を試みている。嘉永四年(一八五二)二十七歳のころ、流し込み活字を考案し、『自著、蘭話通弁』を印刷したらしい(未確認)。安政二年(一八五五)三十一歳のとき、長崎西役所内に活字版摺立所が設置され、その取扱係となった。いわゆる出島版の印刷にかかわるのである。出島版は、長崎奉行荒尾石見守と海軍伝習方取締永井岩之丞と相談し、輸入品の蘭書の復刻をおこなうものであった。このときはオランダ通詞が所有していたヨーロッパ製の活版印刷機を使用した。万延元年(一八六〇)本木は三十六歳のとき飽の浦製鉄所の御用係となり、蒸気船一艘を購入、艦長として江戸・大坂・長崎間の海上勤務をした。

安政六年(一八五九)、本木は増永文治とともに、『和英商賈對話集』を発行している。これは鉛活字と版木に彫りつけた整版とを組み合わせたものであり、活版に移行する技術過程であることがわかる。明治元年(一八六八)四十四歳の年、よく知られるように中島川に鉄橋を架けた。こ

の時期は有能な実業家として活動する。この頃、『崎陽雑報』を発行する。これは木活字を用い、政治的な「トラス世間」のつわさ話などを掲載している。

そして四十五歳の明治三年(一八六九)、彼は本興善町の唐通事会所跡に活版伝習所を設立、フルツキの斡旋で上海からアメリカ人ワイリアムガンブル(W. Gambler)を迎え、電胎母型と活字鑄造法を学んだ。翌明治三年、鉛製の金属活字の鑄造に成功した。「新町私塾」を開き十五歳までの子供たちに習字、読書を教え、さらに洋書についても教育した。その年三月、「新町活版所」を開き、わが国最初の民間活版印刷所を始めたのである。翌年、長崎製鉄所を退き、活字製造、印刷事業に専念した。明治五年(一八七二)十一月には『長崎新聞』の発行を開始した。その間、本木は明治三年には大阪に「大阪活版所」を設置、翌年には京都に「點林堂活版所」、さらに横浜の弁天通に「横浜活版所」を設立している。そして明治五年(一八七二)東京の築地に本木の片腕といわれた平野富治によって「東京築地活版印刷所」が設置され、その後日本は次々と新聞の発行、雑誌の刊行がはじまる。写真家の上野彦馬とやらんで日本の近代黎明期に活動した本木は、明治八年(一八七五)九月三日、五十二歳の生涯を終えた。

# 2003年度 文部科学省21世紀 COEプログラム採択！

## 熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点

21世紀COEプログラムとは

COE( Center of Excellence )とは、卓越した研究拠点のこと。「21世紀COEプログラム」は、文部科学省が平成14年度より開始した新しい制度で、優れた大学の研究プロジェクトを選抜し、5年間にわたり重点的に援助するもの。本年度は「医学」、「社会科学」など5分野を対象に国公私立計225校の申請数611件から、56校の133件を採択。昨年度と合わせると、採択された研究プロジェクトは385校246件となる。

拠点リーダー / 青木 克己 (熱帯医学研究所 教授)  
Professor Yoshiki Aoki



熱帯ウイルス実験室。厳重な装備で、危険な病原体を安全に扱っている。

### 文

部科学省が、卓越した大学の研究機関を選び、重点的に支援する「21世紀COEプログラム」。全国の国公私立大学がしのぎを削る中、長崎大学では昨年度の「放射線医療科学国際コンソーシアム」に続いて、「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」が選ばれました。長崎大学の医歯薬学総合研究科と熱帯医学研究所が、力を合わせて取り組む「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」。「世界をリードする研究拠点をめざします」というチームリーダーの青木克己先生に詳しいお話を伺いました。

### 長年の研究業績が

### 基盤となつたCOE採択

今回、COEに採択された、熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点「は地球規模で流行する熱帯病と新興感染症の包括的制御戦略を創り出し、世界に発信することをめざすものです。」

本研究プログラムがCOEに採択された最大の理由は、本学の多くの先輩により長年にわたりフィリリア症、日本脳炎、A/T(成人T細胞白血病)など感染症に関する優れた研究成果が発表されていること、現在、本学には熱帯医学と新興

感染症を専門とする研究者が数多くいて、 Dengue熱マalaria、住血吸虫症、プリオン病などについて特色ある画期的な研究を地球規模で行っている実績が認められたことによります。

つまり熱帯病と新興感染症を、診断から治療、対策まで、包括的に研究できるのは日本では我々のところだけだと思います。

### 熱帯病と新興感染症を一緒に研究

我々が研究する熱帯病と新興感染症

は非常に似ていて

実は新興感染症で

あると同時に熱帯病

である場合も多いのです。その典型例

が「西ナイル熱」です。これはもともとア

フリカの熱帯病ですが、アフリカではあま

り問題にはならなかったのに、一九九九年

に北米の大都市ニューヨークで突然はやっ

たことから注目を浴びるようになりまし

た。このように熱帯病と新興感染症の流

行の背景には、非常に近いリンクを有する

があると考えられ、それを一緒に研究す

れば、よりよい成果が期待されるのです。

### 今、なぜ新興感染症がおこるのか

皆さんの記憶に新しい新興感染症とい

えば、昨年のSARS<sup>1</sup>の流行でしょう。ち

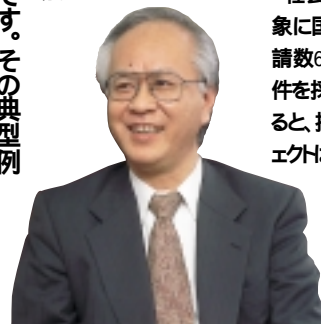
なみにこの時は、本学の熱帯医学研究所

からも三人のメンバーが伝播地域において

SARS<sup>2</sup>感染対策に従事しました。

サブリーダー / 片峰 茂 (医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学専攻 教授)

Professor Shigeru Katamine



## 熱帯病

マラリア・住血吸虫  
デング熱・コレラ

## 新興感染症

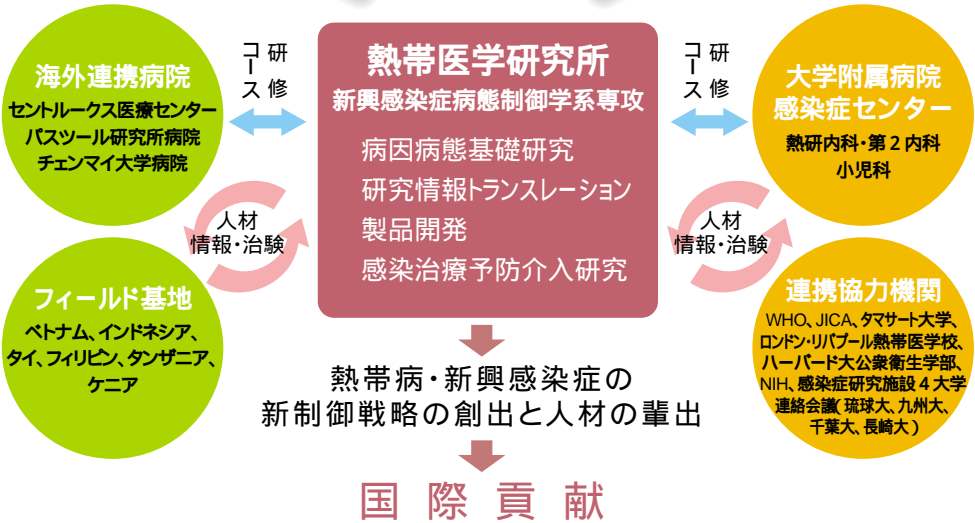
西ナイル熱・SARS  
HIV・薬剤耐性菌

プリオン病  
ヘリコバクターピロリ

## 途上国

## 医師交流プログラム

## 先進国



最も重要視する事項3つの双方向性研究(臨床-基礎/フィールド-ラボ/途上国-先進国)

「エボラ」のような新興感染症がなぜおこるのか。たとえば「西ナイル熱」のように、もともとアフリカの病気だったものが別の地域でおきるようになるのは、近年のグローバル化による人の行動の変化と物の移動に原因があると考えられます。また、**移るものを食べる**といった特殊な行動も

新興感染症がおこる要因のひとつです。それから、日本ではこの三十年間に衛生上の改善がされて、赤痢などのおこらなくなった感染症もありますが、一方で最近**ペットを飼う人が増え**、そうした動物から感染症を発症する人が増えています。

さらに新興感染症の仲間として、**再興感染症**として結核などのように、一度はなくなりましたが、再び**猛威をふるい出した感染症**もあります。

1 (SARS) 新型肺炎、重症急性呼吸器症候群のこと。昨年、爆発的な感染拡大で世界を震撼させた。

2 (三人のメンバー) 熱帯医学研究所の森田公一教授、大石和徳助教授、渡邊浩講師。この三人がWHOのSARS専門家チームに参加。ラオス、カンボジア、中国でSARS対策に貢献した。

### 国内外の機関と連携して拠点形成

このような世界の感染症の現状を受けて、我々の研究は、**熱帯医学研究所と医歯薬学総合研究科、新興感染症病態制御学系専攻**を中核拠点とし、**大学附属病院感染症センター、フィリピン、ベトナム**

ムタイ、インドネシア、タンザニア、中国などの海外連携病院およびフィールド基地、WHO(世界保健機関)など国内外の連携機関の協力を得ながら**研究教育拠点を形成**していきます。

拠点では**基礎研究、製品開発研究、臨床介入研究**を行う3つの研究グループを置きます。そして各グループの連携を密接にし、それぞれの研究成果を総合的に検討し、次の課題を提案・選択していく、**研究情報トランスレーション**という新しい体制も組み込んで進めていきます。

さまざまな熱帯病の病原体を媒介する蚊の仲間。シナハマダラカはマラリア、コガタカイエカは日本脳炎ウイルスを媒介する蚊として知られる。(熱帯感染症研究センター資料室)



マラリアやクルストリパソーマ症などの熱帯病の原因の原虫を培養している。



現地の人々にとって洗濯や憩いの場である川。しかし熱帯病・住血吸虫症の病原体を媒介する貝が生息している。(ケニア)



熱帯病・住血吸虫症の蔓延地における尿検査。この地域では、ほとんどの子供たちが感染して血尿を出している。(ケニア)

### 三つの双方向性で研究を展開

研究の大きな特徴は、「基礎と臨床」、「フィールドと実験室」、「途上国と先進国」という三つの双方向性で研究が展開されていることです。

「基礎と臨床」のスムーズな連携はとても重要です。たとえば、薬を開発する場合、基礎研究によって開発された薬が実際に使用されるには、臨床の先生の協力が不可欠なのです。

「フィールドと実験室」がうまく連携すれば、戦略や新しいツールが生まれやすくなります。たとえば熱帯病の調査・研究をしていると、新しいツールがあったらいいなと思うことがあります。そのアイデアを生かして技術や知識を持つ実験室で新しいツールを開発してもらうことが可能です。

### 感染症対策における戦略の重要性

この研究の大きなポイントは、長崎大学が熱帯病・新興感染症の「戦略拠点」をめざすということです。マラリアを例にあげてみます。現在、我々はマラリアに対して治療薬を有し、蚊を退治する方法や、蚊に刺されないよう殺虫剤を染み込ませた蚊帳を使うなど、いくつかの対策法を持っています。

しかし、マラリアは依然としてなくなりません。それはなぜかという点、ツールの使い方が悪い。そこにはおそらく戦略がないのです。

それぞれのツールには弱点があります。たとえば蚊帳は暑苦しいなどといった欠点がある。それらを見極め、一方、ワクチクなど新しいツールも開発して種々のツールの効果的な組み合わせ方を考え、総合

的な戦略をつくり上げる。これが我々の研究の重要なポイントになっています。

開発途上国のあるところには「伝統的 healer / 呪医」がいて、その人のいうことなら現地の人はよく聞くわけです。我々は以前からこの「トラディショナルヒーラー」に感染症の知識を与え、その人を通して対策を行った方がより効果的なのではないかという考えを持っています。また、実現にはまだありませんが、流行地の現状を知らず、先端科学の知識のもとで研究している方々については「目からウロコ」の話だと思います。

### 感染症の専門家を育てる拠点として

この研究拠点では、今、国際的に不足している感染症の専門家、臨床家や疫学者を含む（を育成するための教育プログラムも設置されます。



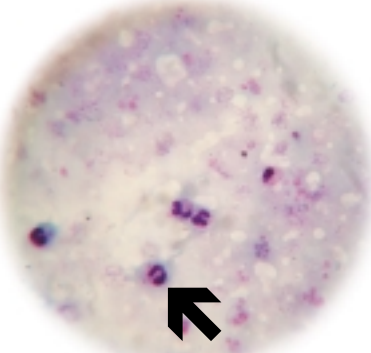
ケニアにある熱帯病の研究室で、村人たちの検尿の準備をする職員たち。



タイの病院で、重症マラリア患者の臨床実習をしている日本の学生たち。

現在、本学の熱帯医学研究所には熱帯医学研修コースという3ヶ月の短期間コースがありますが、日本には熱帯地に特有な病気に関するトレーニングを本格的に受けられるところがありません。希望者はイギリスやタイなどへ出かけて研修を受けています。そこで長崎大学は本格的に熱帯医学を学べる、熱帯医学修士課程（2年制）を設置しようとしています。これが実現すると「日本でのトレーニングが可能になります。」

「感染症は国際協力による制圧が必要」といわれる今、我々のプログラムはその点で高い評価を受けました。感染症対策は地球規模で人々の経済や暮らしを守るために必要不可欠なものだけに、我々の研究拠点は日本における「ライオンキング」(スリダカ)となり、今後、世界の注目を浴びていくに違いありません。



マラリア患者の血液検査で見つかったマラリア原虫。(矢印のリング状のもの)

SARSやインフルエンザなど、巷でも話題の「感染症」。  
そこで今回、COEに採択された研究メンバーの河野先生に、  
「感染症」について、やさしく解説していただきました。

# 感染症 ってなあに？



河野 茂 教授  
Professor Shigeru Kohno

## 1 身近な感染症、「風邪」

病気の原因となる微生物が人に侵入して増殖し、発熱や下痢などさまざまな病気を引き起こすことを感染症といいます。その微生物は小さい順からウイルス、細菌、真菌（カビ）、原虫、寄生虫など。感染後の症状もさまざまです。

もっとも身近な感染症といえば「風邪」ですね。症状が軽いものから重いものまで多種多様ですが、中でも冬場に流行する「インフルエンザ」は、発熱や筋肉痛など全身症状が強く、ひどい場合には肺炎を起こし死亡するケースもあります。インフルエンザは世界の人口の三分の一が罹った「スペイン風邪」（一九一八）が有名ですが、その後も数十年に一回、大流行が起きています。

## 2 新しい感染症と再び現れた感染症

HIVや、SARSなど、新しく知られるようになったものを「新興感染症」といいます。いずれも「コウス」などで「承知」のように社会に非常に大きいインパクトを与えています。

また「再興感染症」とは、過去に問題となっていたコレラや結核などが再び公衆衛生的に問題となっている感染症です。さらに熱帯病で知られるマラリアなども、今も多くの感染者を出し脅威を与えています。その原因として、グローバル化により、病原微生物が人や物を通じて世界各地に広がりやすくなっ

ていること。また、抵抗力が弱い高齢者が増え、もともと身体に持っていた結核菌が再燃するケース、医学の進歩で多くの難病の患者さんが助かる一方で、抵抗力が弱いために弱毒の微生物に対して病気を起こしやすくなっているなど、いろいろなファクターが考えられます。

## 3 感染症の病原菌は進化する！

ある病原菌に対して効き目があった薬剤が、効かなくなるという場合も増えています。それでさらに効く薬をつくるといういわゆる「いたちごっこ」が起きているのです。今後、感染症の研究は、人、病原微生物、薬剤のこの三つの関連を考え、上手くコントロールする必要があります。

## 4 感染症の伝播ルートと予防法

感染症は、主に三つの伝播ルートがあります。結核のように空気中に浮遊した菌が侵入する「空気感染」。そして病原菌が咳、クシャミや会話を通して感染する「飛まつ感染」。「風邪」は主にこれで伝播します。三つ目が

微生物のついたものに直接触れて感染する「接触感染」です。

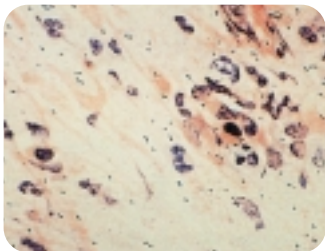
これらのルートからやってくる感染症の予防の基本は、やはり手洗いやうがいです。そして咳が出ればマスクをすることも大切。インフルエンザに関してはワクチンをつけ、流行している時はマスクをし、人混みを避ける。抵抗力が弱まらないよう栄養をとり、休養するなど有効です。これらの予防法は、ちゃんと効果があることが統計でわかっていますから、ぜひ実行して下さい。

## 5 気になるSARS対策

外国から帰って来て体調が悪く、「もしやSARSでは？」と心配な方は、まず保健所に電話をして下さい。そこで、まず診察する場所までのルートや注意点が伝えられ、万が一に備えて感染が広がらない手段がとられます。こういったSARS対策の正しい情報を市民の皆様が前もってきちんと把握しておくことも大切ですね。



肺炎球菌性肺炎で入院した患者（男性）の胸部X線写真。右肺（写真左下部分）に肺炎が認められる。一般に肺炎球菌性肺炎には、ペニシリンを用いる場合が多いが、現在ではペニシリンなどの耐性菌が増えている。



上記患者の肺の組織の一部を染色したら、肺炎の原因菌の双球菌が青く染まって観察される。（1,000倍）

# 新聞記者とつと、多くの出会いから学んだこと。



## 聞いたか放題

長崎新聞社 佐世保支社 記者・丸田理恵

「あ、丸ちゃん、久しぶり。先生にならなかつたんだね」。ある水泳大会の取材ですらりと背の高い中学生の女子選手に話し掛けられた。教育学部四年の時に教育実習で行ったクラスの子だった。「わあ、大きくなつて、水泳頑張ってるね」。懐かしさ、うれしさとともに、「先生にならなかつたんだ」という生徒の言葉に対する後ろめたさがよぎった。

大学入学当時から志望はメソコミだった。それでも、実習中に子どもたちと接するうち、教師という選択肢が頭をもたげたのは事実。「必ず先生になつてねと接してくれた子だったから、裏切られたという気持ちだろつな」と思っている。「取材大変なんですよ。お仕事頑張つてね」と逆に励まされ、彼女は元気に手を振って去っていった。当時と変わらずまっすぐな彼女の何気ない一言がうれしかった。このような思いがけない出会い。記者になつて良かったと感じる瞬間だ。

入社以来、スポーツを取材する機会に恵まれた。中学時代は無名だった選手が高校では全国レベルの選手になつたり、挫折を乗り

越えて栄冠を勝ち取りたりする姿を目の当たりにしてきた。監督の信念が選手的心を動かす、選手は周りで支えてくれる人の期待に応えようとひたむきに全力を尽くし、その姿が会場を揺るがす大歓声を呼び起こす。スポーツに限らず、県内にはそんなヒーを持った人がたくさんいることを多くの人に知ってほしくて、この仕事を続けている。



私は社会に出るまで、偏差値主義の受験勉強に何の疑問も持たず、だれにも逆らわず、周りの言つとおりにしておけばいいというタイプだった。だから信念を持ちスポーツに打ち込んでいる選手や監督がうらやましくもあり、尊敬している。一方で、学生時代に、これと言つて何に挑戦することもなかつた自分に、もつたないことしたな」と申し訳なくも思つてしまつた。

ある大学の先生が、たくさんのお会いがある大学時代はいろいろな経験をして自分に向いているかを見つけてほしいと話されていた。私は仕事で多くの人と接しながら、人との出会いに無駄なものは何一つないと思つている。学生のみならずには、悩みながらも色々なことに挑戦してほしい、私も新たな出会いや再会を大切にしていきたい。今は大学生かもしれないけれど、出会う彼女の笑顔を思い出し、そう強く感じた。

### RIE MARUTA

丸田 理恵(まるた りえ)  
1973年、長崎市生まれ。長崎大学教育学部卒業後、長崎新聞社に入社。編集局運動部、報道部を経て、同社佐世保支社へ異動。現在、主にスポーツ、警察、教育分野担当の記者として活躍中。



サッカーは意思の疎通が大切。ワンツープスが気持ちよくつながった時は、ホントにうれしい。

明るく元気なメンバーたち。一人ひとりが自分の個性を活かして、のびのびとプレーしているのが印象的。

勝ちにもこだわるが、大切なのはサッカーを楽しむこと。

毎年、年度末に制作している部誌「KICK OFF」。メンバーたちのサッカーへの思いから恋の悩みまで女の子ならではの青春が綴られている。

安定したプレーでチームを引っばる城キャプテン。



学生時代を謳歌するならやっぱりサークルでしょ。

# We Love Circle

## 女子サッカー部

### サッカーブームの時代に誕生

Jリーグのスタートで日本中がサッカーの熱気に包まれていた九〇年代はじめ、長崎大学女子サッカー部は生まれました。最初は同好会でしたが、まもなくサークルに昇格。現在、十八名のメンバーが練習に励んでいます。「女子サッカーチームは、九州の大学ではわずか四大学しかなく、毎年秋に行われる九州大学女子サッカー選手権大会では、この四大学が熱戦を繰り広げるんです」とキャプテンの城大空さん(医学部三年)。少数ですがどのチームも栄光を勝ち取るべく必死。この大会で長崎大学は三年連続準優勝をしています。ちなみにトップは福岡大学。なかなかの強豪だそうです。

### 初心者だって、やればできる！

サッカーの試合は通常、前半後半各四十五分、ハーフタイム十五分ですが、女子サッカーの場合、前半後半各三十分または三十五分で、ハーフタイム十分。試合時間が少々短い以外は、ルールは男子と同じです。「一時間走り続けるので、かなりスタミナが必要。長距離走や筋力トレーニングをしっかりと練習メニューに組み入れて体づくりをしています」。

城キャプテンは小・中・高校と近所にあった女子サッカーのクラブチームで活躍し

たベテラン選手。「私は経験者でしたが、他のメンバーは大学に入学してからはじめての人がほとんどです。」

最初の頃は、やはり女の子なのでボールや人と接触するような激しいプレーを怖がってしまつたのですが、それを乗り越え、一年も経たないうちに試合で活躍できるようになります」。

### サッカーは楽しまなくっちゃね

試合中は苦しい時ほど声を出し合い、お互いを元気づける。そうして精神力が体力の消耗をカバーする瞬間、チームワークの底力を感じるそうです。

この三月には社会人チームも参加する「九州オールレディーサッカー県予選」が控えています。「これに優勝して九州大会に出場するのが今の目標です」。

部のモットーは、楽しくサッカーをしよう。といっただけあって、ハードな練習中もメンバーの表情はどこか楽しそう。ボールを蹴って走るといっしょに汗を流すのが、のびのびとしたスポーツに全員そろったこのようです。

FW	鳥田	兼田	久保山	城	広瀬	牧田
MF	中西 内園 金子 松本					
DF	城	高橋	田中	嶋田	堀之内	三浦
GK	山城					

《メンバー》 監督：原 コーチ：拜崎 マネージャー：植田



放射線生物学研究における世界トップレベルの研究所

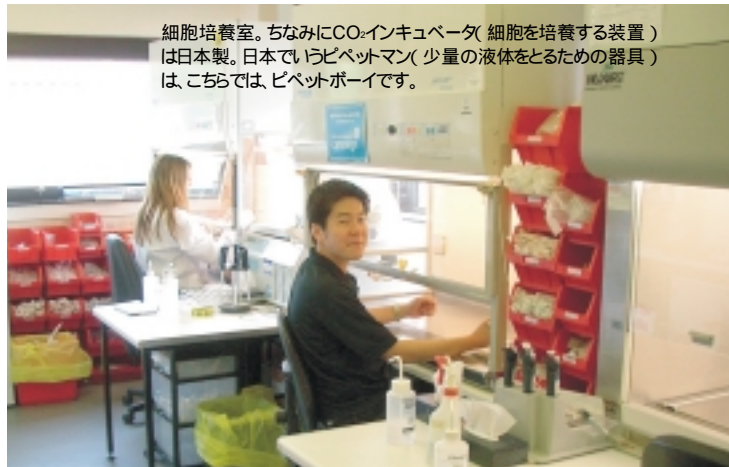
# 英国・グレイ

## 癌研究所から



長崎大学大学院医歯薬学総合研究科  
放射線生物学研究室

濱田 信行



細胞培養室。ちなみにCO<sub>2</sub>-インキュベータ(細胞を培養する装置)は日本製。日本でいうビベットマン(少量の液体をとるための器具)は、こちらでは、ビベットボーイです。

【グレイ癌研究所のURL】 <http://www.gci.ac.uk>

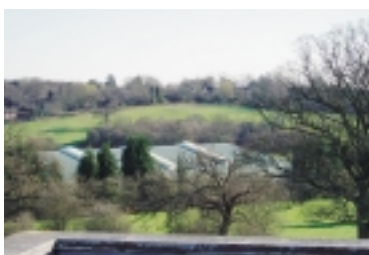
### 留学のきっかけは COE国際シンポジウム

長崎大学が放射線生命科学および放射線被爆者医療の国内における中枢研究機関であることは、昨年、文部科学省が優れた大学の研究機関を選抜するCOE(Center of Excellence)に選ばれたことから明らかです。このCOEは、長崎大学を拠点とする、放射線医療科学国際シンポジウムの構築および若手放射線科学研究者の育成を目標として掲げています。去る二月には、第一回COE国際シンポジウムが医学部のポンス会館にて開催され、私はそこで口頭発表の機会をいただきました。この際の国外

研究者との交流をきっかけに、菓子野元郎COE研究員と私(博士後期課程三年)の二名は、それぞれ五月から十一月間、四月から半年間にわたる英国グレイ癌研究所(Gray Cancer Institute)への留学の機会に恵まれました。

### 世界各国から研究者が集まる グレイ癌研究所

GCRIは一九五七年にグレイ博士(放射線吸収線量の単位Gyにケレイは博士の名前にちなんだもの)により、マウントパーノン病院の敷地の一角に創立されました。ロンドン中心部から北西に二十五km離れた閑静な場所であり、研究所の周辺は、緑が豊富でウサギを目にすることができま



グレイ癌研究所のある街は、豊かな緑に包まれた美しいところ。

下一階地上二階のレンガ造りの本棟には、六研究室に百名います。生物系、医学系、物理系、化学系、工学系の出身者が協力しあい集学的な研究を展開しています。また、十カ国以上からの出身者がいて、国際色が豊かです。私たちはマイケルヘリー教授の分子細胞生物物理学研究室(以下マイケル研)に所属しています。

### 「X線マイクロビーム装置」の実験に没頭!

マイケル研の最大の特徴は五〇〇μm(1mm)の二分の一の精度で照射できるX線マイクロビーム装置があることです。この装置は一つの細胞内の細胞質と核を別々に照射したり、さ



BRAZIL

### お国自慢 【ブラジル編】

南米大陸の広大な土地に  
息づく、多民族国家。



Nakano  
Christiane Maira  
中野・クリスチアーネ・マイラさん(24才)  
経済学部 研究生



美しい黒髪と黒い瞳のクリスチアーネさんは日系三世。祖父母の時代に日本からブラジルへ渡り、現在、一家はサンパウロで暮らしています。「私の家もそうですがブラジルでは祖父母、両親、子供たちが一緒に生活するのが普通」。核家族が多い日本との大きな違いのひとつです。

南米大陸のほぼ半分を占める広大な国土で、人口約一億六、九五四万人。しかしひと口にブラジルといっても、「北部のアマゾン川が流れる地帯では、先住民のインディオの部族が今も電気や車のない暮らしをしています。北東部は黒人文化が強く、サンパウロがある東南部では、私のよつな日系人やイタリア人、スペイン人が多い。そして南部はドイツ人を中心とし

らには、一つの核内に数カ所照射すること  
 とも可能で、現在、世界中から脚光を浴  
 びています。低線量放射線は、免疫や遺  
 伝子損傷修復機構を活性化したり、細  
 胞増殖を促進するといった高線量放射  
 線とはむしろ逆の生物効果を誘導する  
 ことが知られています。また最近、放射線  
 の生物効果は、実際に被曝した細胞だけ  
 ではなく、その周囲の細胞や子孫細胞に  
 まで影響が伝達されることが知られてい  
 ますが、これらの誘導機序はあまり明ら  
 かにされていません。これらの機序を明ら  
 かにすることは、放射線のリスク評価と  
 の程度のレベルの放射線までリスクがある  
 のが( )にも重要で、そのため、マイクロロー  
 ム装置は極めて有効なツールです。現在、  
 私たちは、このマイクロローム装置を用い  
 た実験に没頭しています。長崎大学に近



会議室にて。生物系と物理系の研究者が半々で、現在、6カ国の出身者がいます。



X線マイクロビーム照射装置。多くの研究者や学生が見学に訪れます。

日中に、X線マイクロロームを導入される  
 と聞いています。ますます長崎大学の放  
 射線科学研究が活性化されることと思  
 います。

勤務は九時〜十七時  
 残業はしないのが英国流!?

英国の夏は圧倒的に涼しく  
 暑く感じたのは半月間ほどの  
 日中のみで、八月末には半袖  
 では鳥肌がたつほどでした。  
 夏至付近には、二十二時を過  
 ぎても外が明るいうちに驚き  
 ました。また日本人大学院生  
 は朝早くから夜遅くまで実  
 験に時間を費やすのが一般  
 的だと思いますが、少なくと  
 もグレイ癌研究所では、平日

九時〜十七時以外に実験をしている人を  
 ほとんど見かけませんでした。

それでは、最後に、留学の機会をいた  
 だいた渡邊正己教授とマイケル教授に  
 感謝申し上げます。



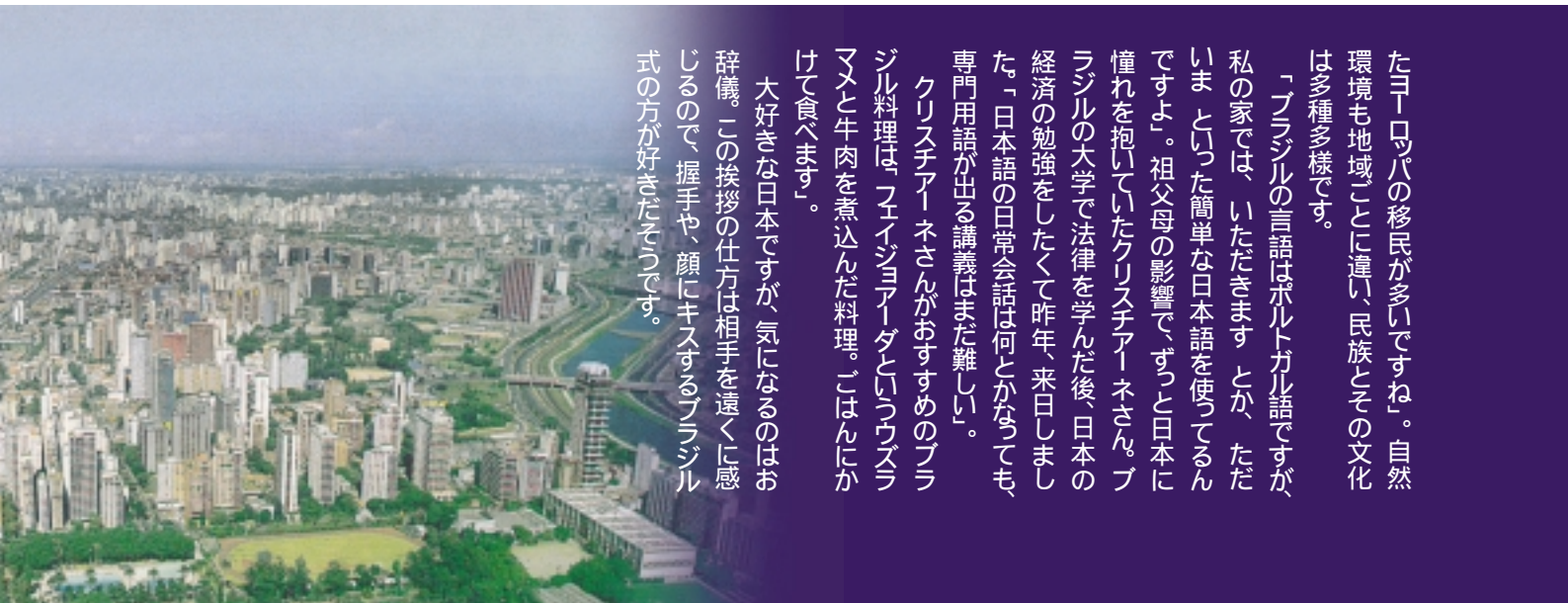
グレイ癌研究所入り口での分子細胞生物物理研究室の集合写真。(左から6番目:筆者、9番目:マイケル教授、右から5番目:葉子野COE研究員)

たヨーロッパの移民が多いですね。自然  
 環境も地域ごとに違い、民族とその文化  
 は多種多様です。

「ブリジルの言語はポルトガル語ですが、  
 私の家では、いただきますとか、ただ  
 いま」といった簡単な日本語を使ってるん  
 ですよ。祖父母の影響で、ずっと日本に  
 憧れを抱いていたクリスチアーネさん。ブ  
 ラジルの大学で法律を学んだ後、日本の  
 経済の勉強をしたくて昨年、来日しまし  
 た。「日本語の日常会話は何とかなつても、  
 専門用語が出る講義はまだ難しい」。

クリスチアーネさんがおすすめのブラ  
 ジル料理は、フイジョアータというウズラ  
 マメと牛肉を煮込んだ料理。ごはんにか  
 けて食べます。

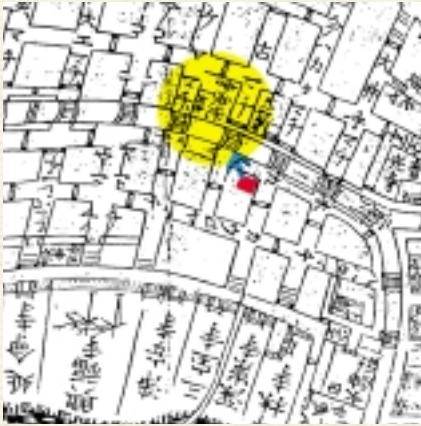
大好きな日本ですが、気になるのはお  
 辞儀。この挨拶の仕方は相手を遠くに感  
 じるので、握手や、顔にキスするブラジル  
 式の方が好きだそうです。



# 古町橋と光永寺

寛政8年(1796)刊、富嶋屋版「長崎図」より  
写真は、本カジヤマチ側の河畔のやや上流で、西南方向にカメラをセットして、15~20メートル上方から古町橋と光永寺を撮影している。現在の中島川の上流左岸にある「いすや弁当」あるいは「京華園」の3階あたりの高さから撮ったと推定できる。

N  
4  
+



古町橋と光永寺 所蔵:長崎大学附属図書館 [サイズ縦20.2cm×横26.1cm] [モノクロに彩色]

撮影者は不明だが、この一枚には優れたセンスが感じられる。憶測すれば、中島川の上流河畔の新大工町に明治15年ごろ新築した上野彦馬のスタジオがあり、このあたりの風景は常時撮影現場だった。可能性としてその関係者を想定してもよいだろう。光永寺の敷地は広大で、下流に架かる「一寛橋」との間を占めている。

## 美しい構図で甦る古町橋

視線を引き込む、優れた構図

この写真は中島川中流域の風景で、手前の石橋はすでに失われて久しい昔の「古町橋」、後方は向陽山光永寺(長崎市桶屋町三十三丁古町二十七番地)である。橋のたもとに灯籠があり、明治中期の撮影と考えられる。安政元年(一八五四)、長崎遊学の福沢諭吉はここを宿所とした。

左下から右奥へ橋を渡るように視線の向かうところに光永寺本堂の大屋根、右下隅から左上方にゆるやかな川の流れに沿って光永寺の白壁が奥行きを深めている。橋の上には二台の人力車と車夫、川岸にも人影が見える。Xに交錯するように遠近を際立たせ、右の奥に焦点を結び、そこからXの中心のように折れて左奥へ視線を引き込むように工夫された構図である。

『長崎名勝図絵』には、中島川に架かる第一橋を「瀨川の阿弥陀橋」として、西浜町の大橋まで十五橋を数える。その第五橋としてこの橋をあげ「古町にあり、元禄十年(一六九七)十二月河村氏母妙了建」と記す。河村甚右衛門の母である妙了という婦人がこの石橋を架設したのだという。寄進の理由はこのようなことであったろうか。

古い欄干に、幾度の架設の痕跡

古町側の欄干のたもとに古い石橋の角柱型欄干が保存されている。「元禄十丁丑曆ノ十二月下旬成就畢ノ施主妙了」とあり、その右横には小振りな角柱型欄干の石柱が並んでいる。すでに剥落して

### 世界に誇る、珠玉のコレクション

写真技術は日本が開国する前後に長崎で確立し、日本全国に伝わりました。当時、日本の写真術の開祖と称される上野彦馬らが活躍。膨大な数の長崎の写真が残されており、長崎は写真史においても重要な場所といえます。

長崎大学が所蔵する「幕末・明治期 日本古写真コレクション」の内容は、主に外国人居留地である長崎・横浜を中心に、東京、京都、大阪、神戸やその他の観光地の風景・風俗・人物などを撮影したものです。その多くは当時の職業絵師により彩色されています。総点数は約6,000点(2003年3月末日現在)。近代日本の生い立ちを研究する貴重な資料として、我が国多数のコレクションになっています。

このコーナーでは長崎大学が所蔵するコレクションを基にそれにまつわるエピソード等を交えながら紹介していきます。

判読は困難だが、「延享三年丙寅古町中」と刻まれている文字を見ることができ、つまり、享保六年(一七二二)洪水で流失し、延享三年(一七四六)にかけて再三架設されてきた痕跡である。

渡辺庫輔著『昭和版長崎土産』(昭和八年九月刊)には「この写真より三、四十年後の昭和初期の風景を次のように描写している。」

桃浜橋の下手の川べりには、水車が静かな音をたて、その附近の川原には家鴨が群をなして悠々と遊んだ。(中略)編笠橋が蔦紅葉に化粧したのは殊に美しかった。古町橋の川岸には片側には松の木、片側に梧桐の木が立並んで影をつくった。そして川ふちの石垣の間には、時に傘屋が油引きの傘をほした。

古写真に残された「古町橋」の原型

昭和五十七年(一九八二)七月二十三日、長崎市は記録的な大水害に見舞われた。そのとき眼鏡橋に代表される石橋群は半壊、流失など甚大な被害をこうむった。その後改修に際して、長崎が誇る歴史的な石橋群は洪水の危険性をはらんでいるという理由で、堤防の脇をえぐり、水路を作るなどの工夫をして復元したり、反りを高くあげた不自然なアーチ式の石橋などに架け替えられた。流失した「古町橋」も、昭和六十一年三月、他の石橋と同じく、架け替えられた。その原型は、もはや古写真で見ることができない。



1 22 2 5

長崎大学附属図書館新収古写真展  
「古写真に見る明治の長崎」

日 時 1月22日(木)～2月5日(木) 9時～18時

場 所 長崎市出島史跡ヘトル部屋(入場無料)

入試情報

◎大学入試センター試験

日 時 1月17日(土)・18日(日)

◎前期日程試験

出願期間 1月26日(月)～2月4日(水)

試験実施日 2月25日(水)

※医学部医学科は2月26日(木)も実施する

合格発表 3月8日(月)

入学手続 3月14日(日)・15日(月)

◎後期日程試験

出願期間 1月26日(月)～2月4日(水)

試験実施日 3月12日(金)

合格発表 3月21日(日)

入学手続 3月26日(金)・27日(土)

長崎大学吹奏楽部  
第22回定期演奏会

日 時 1月24日(土) 18時30分開演

場 所 長崎市公会堂(入場無料)

卒業式

日 時 3月25日(木) 10時

場 所 長崎ブリックホール

入学式

日 時 4月8日(木) 10時

場 所 長崎ブリックホール

編集後記

長崎大学はいま、大きく変わろうとしています。4月からの法人化への対応にあわせたキャンパス整備、施設の改善が学内のいたるところで行われており、「長大キャンパス」として特集いたしました。生まれ変わった快適な環境の下で、学生の勉学意欲が高まるとともに、研究の大きい前進が期待されています。大きい前進といえば、平成14年に引き続き、「21世紀COEプログラム」に「熱帯病・新興感染症の地球規模制御戦略拠点」が採択されました。研究内容をわかりやすく、身近なものとしてお伝えしております。また、前回のCOEプログラムの一環としての大学院生の「留学体験」は、若い世代の人たちの励みとなることでしょう。シリーズ「長崎学」では、長崎の歴史の奥深さを堪能していただければと思います。学長からの気合いあふれるメッセージもお見逃しなく。

TEL 095-819-2014 / FAX 095-819-2024

E-mail : [www\\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp)

■編集・発行◎長崎大学広報委員会(広報誌企画・編集専門委員会)

■発行日◎2004年1月



古紙配合率70%再生紙を使用しています。

# CHOHO

## 第6号アンケート

読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。ご回答はFAX (095-819-2024)でお願いします。



◆年齢

◆性別

歳

男 ・ 女

### 1 今回よかったコーナーに✓をつけて下さい。(複数回答可)

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 【特集】長大キャンパス                | <input type="checkbox"/> 【We Love Circle】女子サッカー部 |
| <input type="checkbox"/> 【長崎学】長崎の印刷・出版史             | <input type="checkbox"/> 【留学体験記】英国・グレイ癌研究所から     |
| <input type="checkbox"/> 【NEWS】文部科学省21世紀COEプログラム採択! | <input type="checkbox"/> 【留学生のお国自慢】ブラジル          |
| <input type="checkbox"/> 【感染症基礎講座】感染症ってなあに?         | <input type="checkbox"/> 【明治ジャパネスク】古町橋と光永寺       |
| <input type="checkbox"/> 【いいたか放題】新聞記者 丸田 理恵 さん      |  |

### 2 今回の内容はどうか? ✓をつけて下さい。

やさしい  ふつう  少しむずかしい  むずかしい  わからない /  おもしろい  ふつう  つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。

### 3 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

◎ご自由にお書き下さい。

### 4 CHOHOをどこでご覧になりましたか?

### 5 その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

◎ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました!

長崎大学総務部総務課広報室

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2014

E-mail: www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp